



柏ビレジ・ニュース



1992年3月31日

恒例の「もちつき大会」

橋本 信利

もちつき大会は天気が良いとのジンクスの通り、今年のもちつき大会も良い天気に恵まれました。今年も開始時間を一時間遅くし、

た。おかげ様で皆さん無事出勤出来たようです。

力有難うございました。良い伝統として根付かせていきたいと思えます。

十一時としたこともあって開始直後からドツと参加者が訪れ、それ以降午後二時頃まで長い待ち行列が途切れないという、例年にも増して、大盛況のもちつき大会でした。

第二の特徴はクリーンなもちつき大会が実現出来た事です。例年大会終了後は膨大な発泡スチロールのゴミが出ていました。八支部の森さんから、焼却時の有毒ガスの発生及び、資源の無駄使い等、せつかくの楽しいもちつき大会が、最後は決して良い結果で終わっていない事を指摘して戴き

最後に裏話を一つ紹介します。適量で作ったはずの豚汁が予定より早く売り切れてしまいました。反省会でいろいろ考えた結果、皆さんの持参された容器が、昨年度までの発泡スチロール容器より大きいことが原因だと言った結論に達しました。来年はそれを見込んだ量を作りたいと考えています。

会員の親睦をより深める目的のもちつき大会、今年

は次の特徴がありました。第一の特徴は、重労働のもちつきに協力していただいた方が非常に多かった事です。食べるだけでなく、もちつきに積極的に参加して

ました。お願いしながらもほんとうに皆さん容器持参で来てくれるだろうか、面倒なので参加して欲しくないのでは？ などと心配していましたが、ほぼ全員の方に容器持参で参加していただきました。ほんとうにご協

ちつきに積極的に参加して

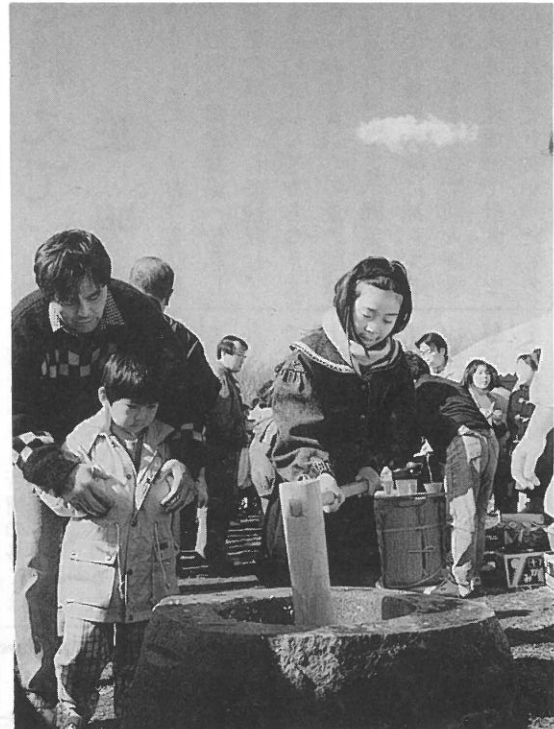
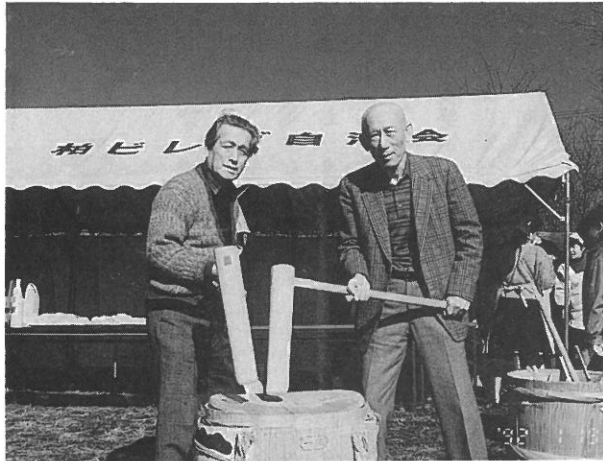
た。お願いしながらもほんとうに皆さん容器持参で

来てくれるだろうか、面倒なので参加して欲しくないのでは？ などと心配して

た。お願いしながらもほんとうに皆さん容器持参で

来てくれるだろうか、面倒なので参加して欲しくないのでは？ などと心配して

た。お願いしながらもほんとうに皆さん容器持参で



一年をかえりみて

会長 戸崎 巖

本年度も、役員各位の献身的なお骨折りと、会員の皆様の大ご協力をいただきまして、無事一年を終えることができました。心から厚く御礼申し上げます。

柏ビレジ自治会が設立されたのは、昭和五十七年十二月十二日でしたから、昨年の同日から十年目に入ったこととなります。

この間、歴代役員の方々のご努力と、会員の皆様のご支援により、自治会は概ね順調に発展し続けて参りました。三大自然と称している正月のもちつき大会、八月の夏祭り、秋の文化祭は、少しずつ改善を加えてすっかり定着し、参加者も

年々増加し、会員相互の親睦を図る場となって皆様に喜ばれております。

しかし、自治会のもう一つの目的である地域内における環境整備の面では、自治会設立以来抱えていた問題が、一向に改善されないばかりか、益々悪化の傾向にさえあります。

その一つは犬の糞のことです。ビレジ内には数百頭の犬が飼われておりますが一部の心ない人達によって糞が放置されております。もう一つは、これまた依然後を絶たない迷惑駐停車です。バスの運行に支障を来とし、近所同士のトラブルもあるやに聞いております。

す。いまわしい交通事故も年間数件起きています。

春秋のクリーンデーには数千人が参加して汗を流しているのに、少数の不心得者によって生活環境が崩されてゆくのは誠に残念なことです。

これらのことは、三十数名の自治会役員の手ではどうにもなりません。個人のモラルの向上にまつほかはないのですが、住民の相互監視(いやな言葉です)を強化することも考えなければならぬかと思えます。

一年間を振り返って

第五支部長 福井 孝

麗かな春の週末、自治会館裏手で始まった子供御輿の手造り作業から一年近くが過ぎ、皆目見当がつかなくなった支部長という役も、他の役員、支部長の皆さんに助けられ、大過なく任期を完了出来そうです。千葉

都民の多いビレジは、私も含めて互いに知り合う機会が少なく所ですが、自治会の活動を通して、多くの方

々と親しくして戴き、わが街の思いがしてきました。

良い住環境を守っていくには、一人ひとりの良識と、他への気配り、協力が必要です。強制力を持たない自治会ですが、その活動に自主的に参加していく内に、心の交流が始まり、自分達の街の為に力を貸す気になつていく様です。今後も毎年、役員、支部長等の経験

者が増える事は喜ばしい事と思えます。個人的には、種々の行事計画、実施は老体にはきつく、所詮、推進力の主体は壮年層と、残念乍ら痛感しました。金と権限のない自治会も今や、柏市最大と言われますが、この一年を通じて会員各位の

資質の高さが印象深く、今後も騒音、緑化、純然たる住宅地域への外部交通の流

子供会会長を終って

霜鳥 則子

皆さん私達の柏ビレジに子供会という組織があるのをご存知ですか。不肖この私は知りませんでした。そんな私が無事この一年会長職を勤められたのは5人の執行部と36人の役員のお母さん達の協力と支えがあったからだと思います。七月初め田中祭りという地域のお祭りが最初の仕事でした。他地区との踊りの輪の中に柏ビレジからも踊り手を出さなければなりません。子供達を引率するより骨の折れる仕事です。初めは渋々参加のお母さん達も子供達の熱気の前にはいつか一緒に

入増、汚水処理場移管等々環境の維持、改善に期待しております。



した。そして新年の餅つき大会と自治会の行事は子供会のお母さんの協力なしでは成り立たない程大きな活動をしています。愛らしいたくさんの子供達に引きずり込まれて楽しく過ぎて頂いた一年、本当にありがとうございました。

環境部長を終えて

森 正明

一年間のご支援ありがとうございました。

自治会役員の二年目という事で、環境部長をやることになりました。就任当初は、私でできるだろうかかと不安でしたが、二月十六日の防火訓練を終え、環境部としての活動の一年間がやつと終わった様に思います。一年間の活動として、近隣公園南側の街路燈の増設、

クリーンデーにおける落葉の回収(田中農協へ依頼し堆肥の原料として回収してもらいました)もちつき大会におけるゴミの量の削減(容器持参により、例年よりゴミの量を大幅に減らすことができました)防火訓練の実施。環境部で計画しながら実施できなかったものを



として違法駐車に対する警告ステッカー張りがありました。自治会、特に環境部へ寄せられる苦情の多くは個人のモラルの問題というか、他人への思いやりが欠けていることによるものと思えます。犬に対する苦情も、ビレジ内に、犬が嫌いな人もいる事を忘れていたのではないかと思います。路上駐車にしても、思いやりの欠落ではないかと思えます。最後になりましたが、自治会によせられた苦情の大部分が解決できなかった点をご容赦願います。

自治会への沈黙

事業部 櫻井 孝

我々の多くは、自由とはあたかも他人との関係の不在において成立するかのごとく錯覚し、他人との関係の否定態は「孤独」であり、自治体より、僕の主観においてのみ「自由」は存在しているもので、ロビンソン・クルーソーには孤独があつて言葉の正しい意味における自由はないことに気づこうとしない。

これは、市民社会の実現と維持の担い手は、自由主義国家であろうと社会主義国家においてさえも、内面的に窮極的な担い手を求めるほか道はないことに気づく。歴史の悲劇も自治会の悲劇も善意の人々の沈黙と無関心が原因で起るはずだ。

善意にあふれた人々は大勢いるのに勇氣ある声や行動は起らない。

第10回柏ビレジ定時総会

★4月19日(日) 13時~16時

★花野井小学校体育館

- 柏ビレジ自治会定時総会
- 柏ビレジ緑化協定定時総会
- 柏ビレジ共有施設管理組合定時総会
- 花野井地区建築協定定時総会
- 柏ビレジ建築協定定時総会